

## 港区人口推計（令和5年3月）について

### 1 前提

区の人口は、平成8年以降の一貫した増加傾向から一転して、令和2年6月以降、新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」といいます。）の感染拡大に起因すると思われる減少傾向となっていました。しかしながら、令和4年2月からは再び増加傾向となるなど、今後の動向の見極めに当たって、これまで以上にきめ細かな実態の把握と分析が必要な状況です。

本推計は、港区基本計画（令和3年度～令和8年度）（以下「計画」といいます。）の後期見直しの根幹となる将来人口の把握に向けて、人口動向はもとより、各種動向の把握と分析をした上で、今後10年程度の人口推移を見通したものです。

### 2 港区の将来人口推計

令和5年1月1日を基準日とした推計結果は以下のとおりです。

本推計では、現下の社会状況を踏まえ、令和5年以降は、感染症の拡大前と同水準の増加傾向が継続すると推計しています。

なお、令和4年度以前に実施した推計との比較結果は別紙に掲載しています。

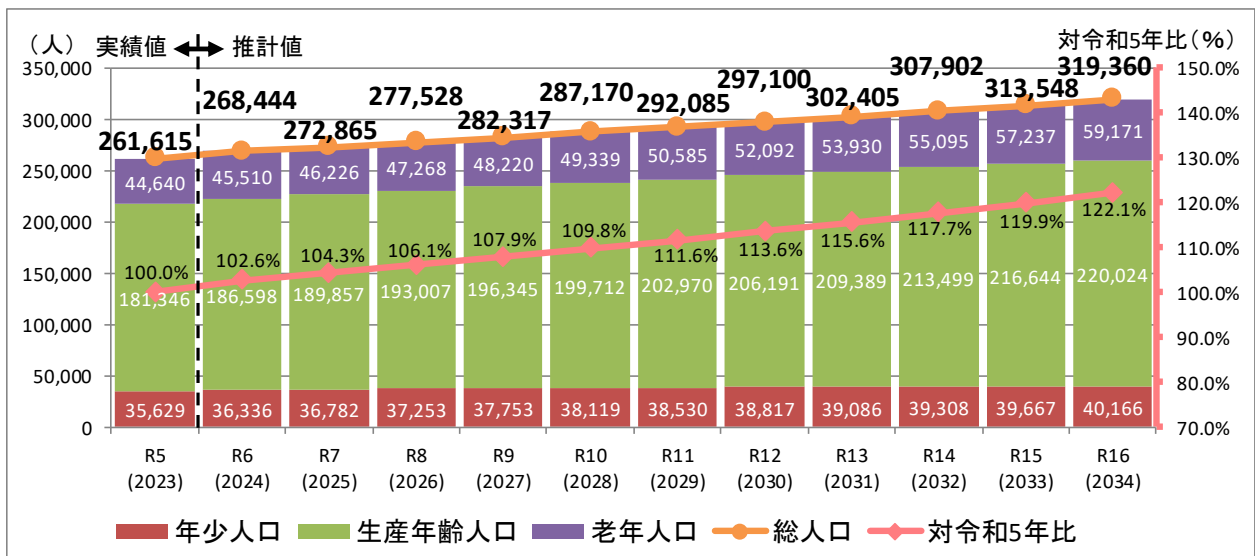
※記載の数値は、端数を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しないことがあります。

#### (1) 推計結果

##### ア 総人口（日本人+外国人）

総人口は、令和5年以降、増加傾向が継続し、計画の最終年度である令和9年には282,317人、令和16年には319,360人となる見込みです。

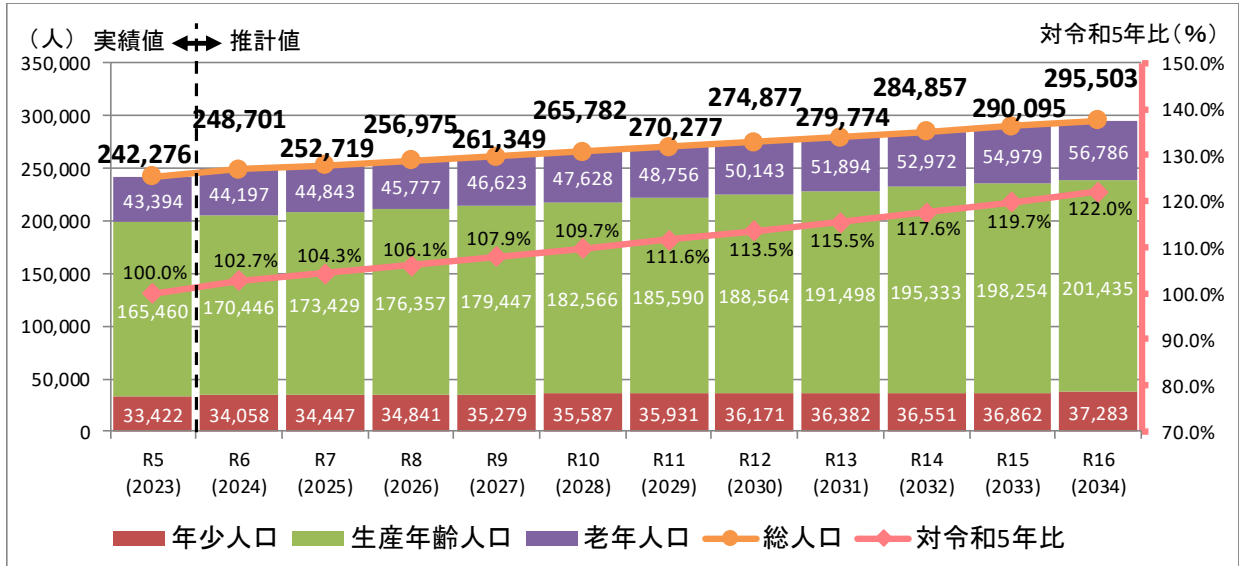
#### 総人口（日本人+外国人）の推計結果



## イ 日本人

日本人の人口は、令和5年以降、増加傾向が継続し、計画の最終年度である令和9年には261,349人、令和16年には295,503人となる見込みです。

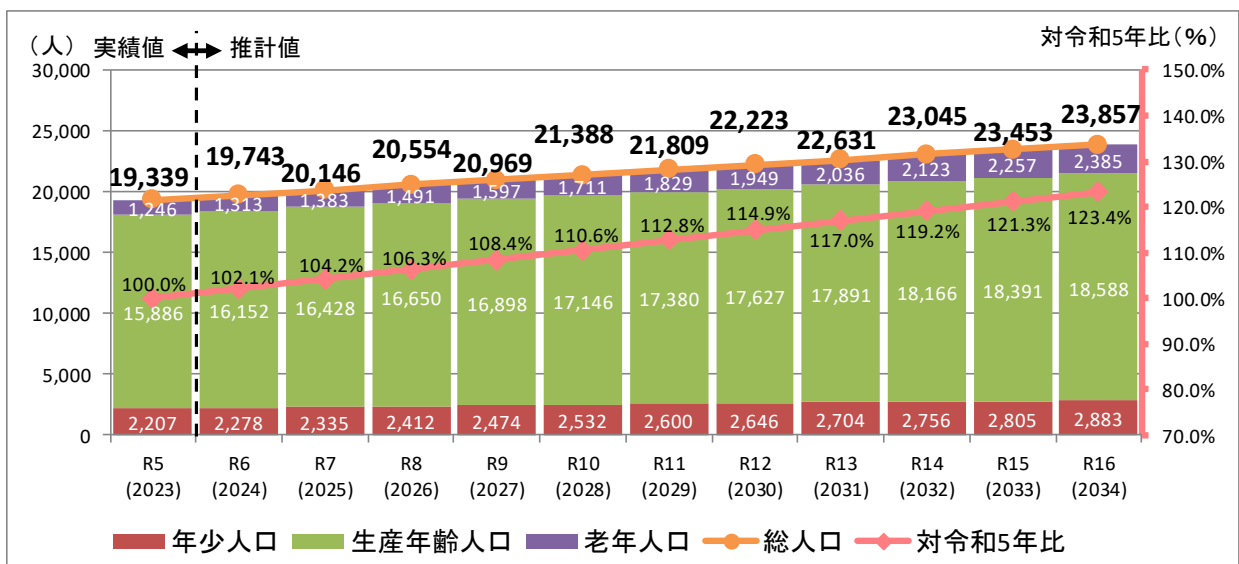
### 日本人の推計結果



## ウ 外国人

外国人の人口は、令和5年以降、増加傾向が継続し、計画の最終年度である令和9年には20,969人、令和16年には23,857人となる見込みです。

### 外国人の推計結果

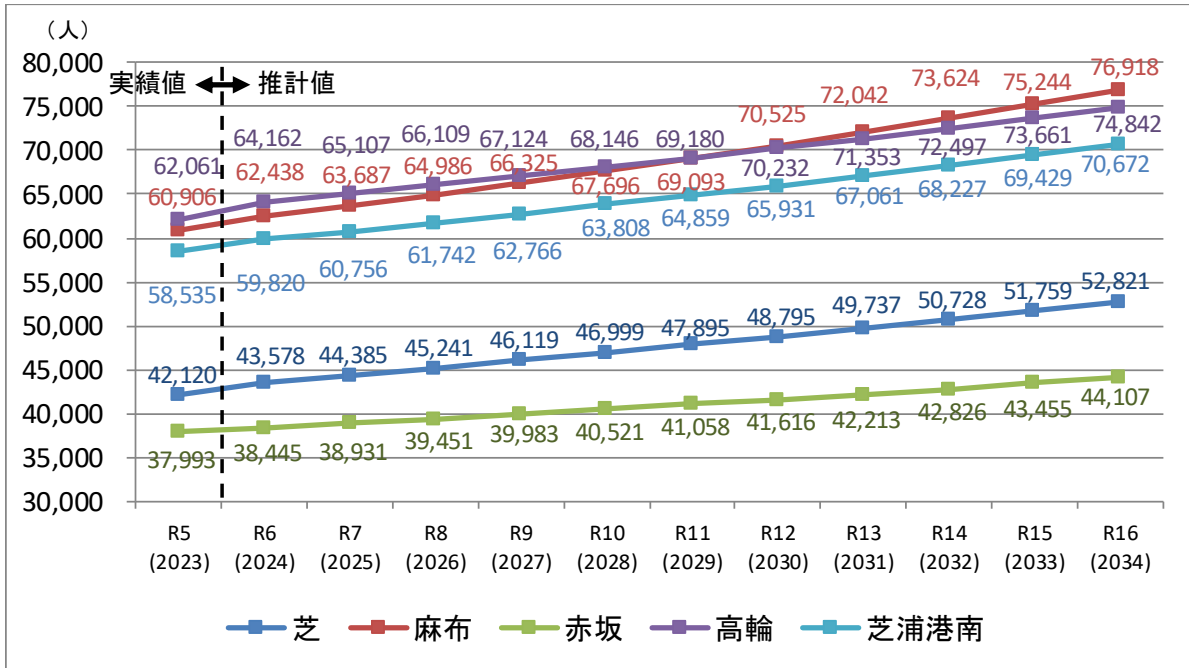


## (2) 5地区の将来人口推計（日本人+外国人）

地区別の将来人口は、区全体と同様に、令和5年以降、増加傾向が継続すると見込んでいます。

推計最終年の令和16年には、麻布地区が76,918人で最も多く、次に高輪地区が74,842人、芝浦港南地区が70,672人、芝地区が52,821人、赤坂地区が44,107人となる見込みです。

### 5地区別の人口（日本人+外国人）の推計結果



### 3 区を取り巻く現状

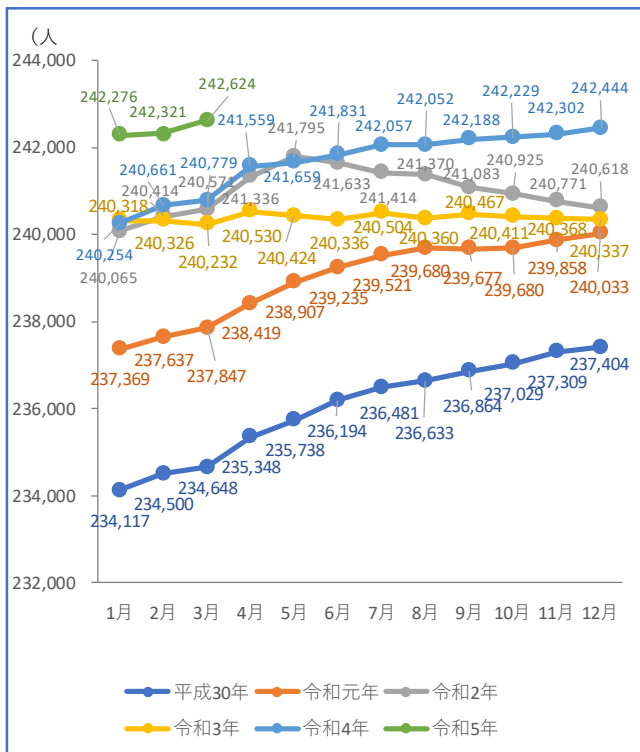
#### (1) 人口動向

日本人の人口は、令和4年2月から増加傾向に転じており、同月以降は、感染症の拡大前と同水準の増加傾向で推移しています。

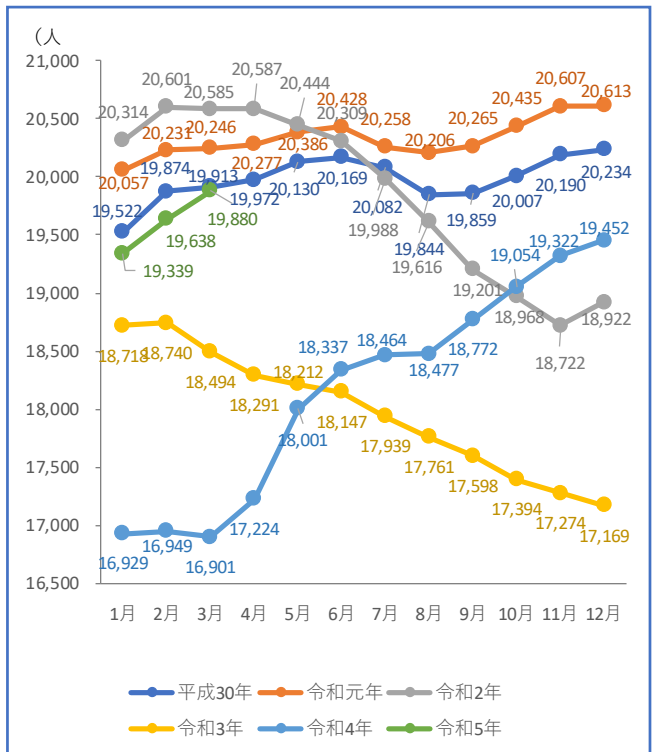
外国人の人口は、令和4年4月から6月にかけて大幅な増加傾向となり、その後一部増加が落ち込んだ月があるものの、感染症の拡大前を上回る増加率で推移しています。

#### 月別人口の推移

##### 日本人



##### 外国人



出典：住民基本台帳より作成

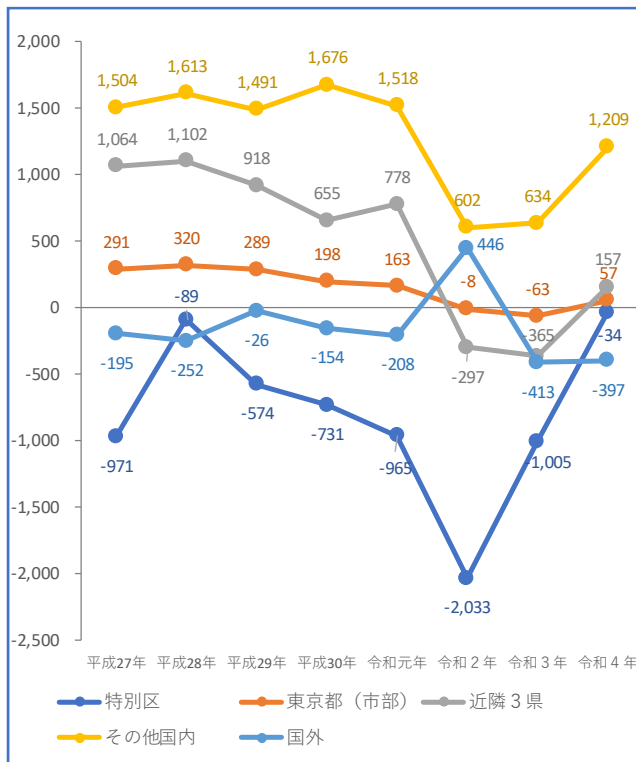
## (2) 転出入動向

日本人については、転出先及び転入元住所地別の転入超過数に着目すると、東京市部や神奈川県、埼玉県及び千葉県近隣の3県をはじめとした、特別区を除く国内間では、令和2年及び令和3年と比較して増加傾向にあるものの、依然として感染症の拡大前よりも低い水準となっています。また、特別区間の転入超過数は、令和2年及び令和3年と比較して大幅に増加し、感染症の拡大前の水準を上回っています。

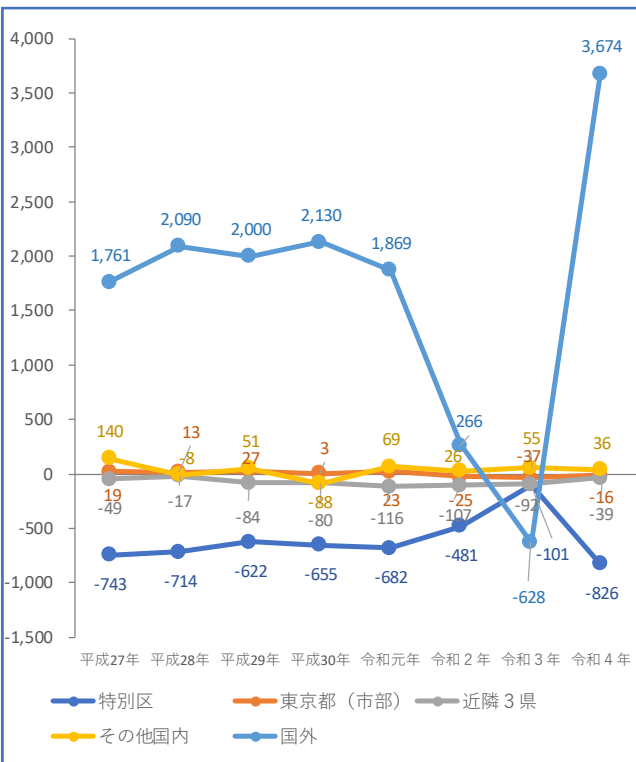
外国人については、国外を対象とした転入超過数が、令和2年及び令和3年と比較して大幅に増加し、感染症の拡大前の水準を上回っていることが特徴的です。また、感染症の拡大以降に増加していた特別区間の転入超過数は、感染症の拡大前の水準となっています。

### 転出先及び転入元住所地別の転入超過数の推移

#### 日本人



#### 外国人



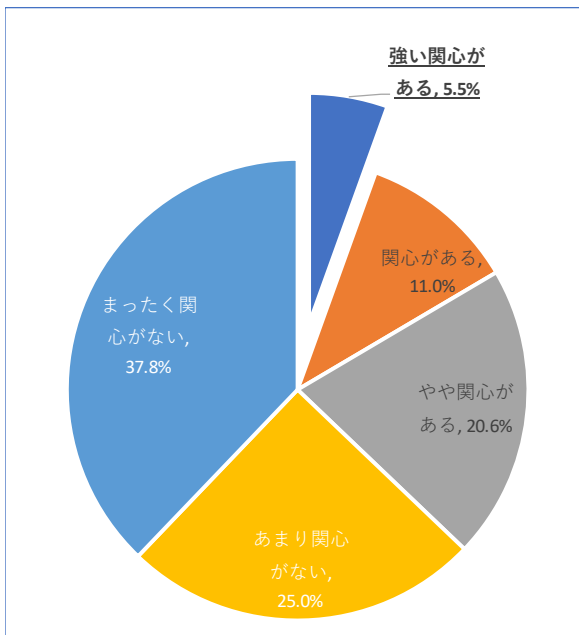
出典：住民基本台帳より作成（「行政情報分析基盤システム」を活用して作成）

### (3) 地方移住志向

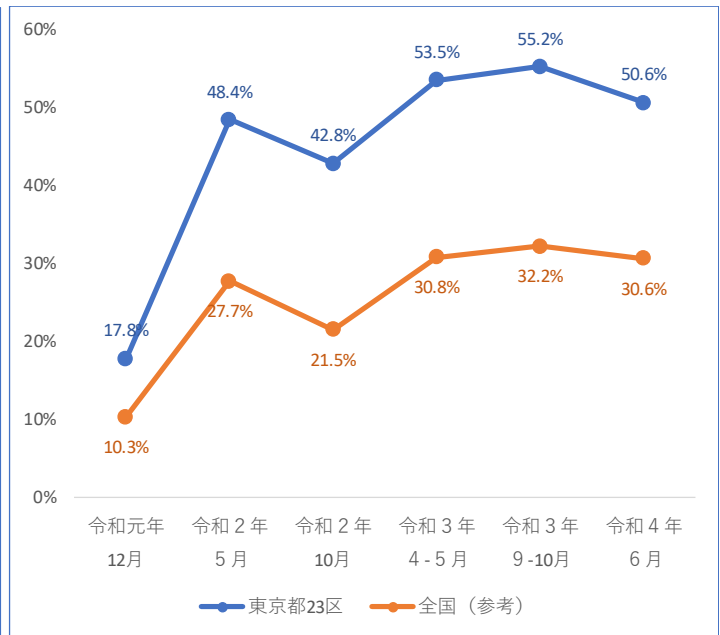
前述(2)のとおり、日本人の特別区を除く国内間の転入超過数が感染症の拡大前と比較して低い水準であるほか、内閣府「第5回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」において、令和4年6月現在、特別区在住者の地方移住への関心については、「強い関心がある」「関心がある」の合計が約16%となっています。

また、地方移住の要因となるテレワークの実施率は、特別区在住者において約5割を越える水準であるなど、引き続き地方移住志向は高まっているものと見込まれます。

特別区在住者の地方移住への関心



特別区在住者のテレワークの実施率



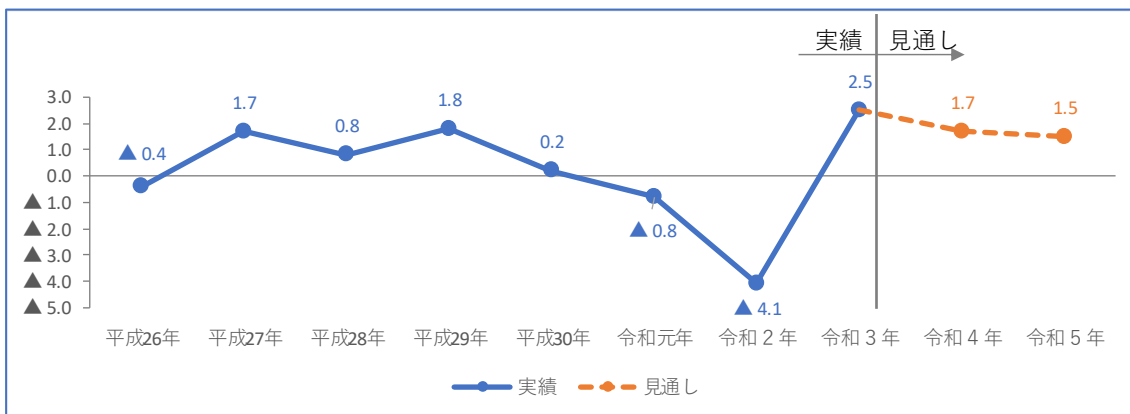
出典：内閣府「第5回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」(令和4年7月)より作成

#### (4) 経済動向

経済動向について、四半期別の実質GDP成長率を見ると、令和3年10－12月期から3期連続してプラス成長となった後、直近の令和4年7－9月期では前期比－0.2%のマイナス成長となったものの、国は、マイナス要因は一時的なもので、景気は緩やかに持ち直していることには変わりはないとしています。

また、年単位としては、直近の実績は令和3年度が2.5%のプラス成長であり、内閣府が令和4年12月22日に公表した「令和5年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」では、令和4年度及び令和5年度ともにプラス成長するものと見通しています。

#### 実質GDP成長率（前年度比）の推移



出典：内閣府「国民経済計算（統計）」及び「令和5年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」より作成

### 4 推計手法

#### (1) 基本的な考え方

本年の推計に当たっては、令和4年2月から続く人口増加傾向が、令和5年以降も継続するものと見通しました。

感染症の拡大以降の港区人口推計では、景気動向と人々の感染症に対する意識が、区の人口に多大な影響を及ぼしており、将来的にこれらが好転することによって、人口は再び増加傾向に転じるものとしていました。

令和4年においては、前述3(4)のとおり、景気が緩やかに回復するとともに、各地でイベントが再開したことをはじめ、社会や人々の感染症への意識が変容していることに呼応するように、水際対策の緩和によって増加が見込まれていた外国人のみならず、特別区間など、国内間における転入超過数が増加し、区の人口全体としても増加傾向に転じています。

このように、未だ感染症の収束の見通しは不明瞭であるものの、人々の動きは、確実に感染症の拡大以前に戻りつつあると言えます。

以上を踏まえ、これらの傾向が今後も継続するものと見込み、令和5年以降においても引き続き人口増加が続くものと推計しました。

## (2) 具体的な推計内容

将来人口の算出においては、これまでの港区人口推計と同様に、日本人と外国人の傾向に着目した上、以下のように推計しました。

### ア 日本人

令和4年における日本人の人口は、前述3(1)のとおり、概ね感染症の拡大前の増加傾向に回帰している一方で、特別区間における転出超過数が大幅に縮小していることや、特別区を除いた国内間の転入超過数が依然として低い水準であることなど、感染症の拡大以前とは異なる傾向も見られます。

これらを踏まえ、**日本人は、令和5年以降、地方移住志向の高まりの影響を一部残しつつも、感染症の拡大前に準拠した人口増加傾向となる**と推計しました。

これは、特別区間における転出超過の大幅な縮小を、感染症の拡大以降における低調に対する一時的な反動と捉えるとともに、特別区を除いた国内間の転入超過数が低水準であることを、テレワークの普及などに伴う地方移住志向の高まりに起因すると位置づけたことによるものです。

なお、地方移住志向の高まりに伴う人口動向への影響は、令和4年における特別区を除く国内間の転出数の対前年減少率、転入数の対前年増加率を踏まえ、令和5年はこれらの傾向が一定程度継続した上、短期的には感染症の拡大以前の水準に回復しないものと見込みました。

### イ 外国人

外国人の人口は、前述3(1)のとおり、令和4年4月から6月にかけて大幅な増加傾向となり、同月以降の各月においては、感染症の拡大以前を上回る増加率で推移しています。

これは、水際対策の緩和によって一時的に国外からの転入数が増大し、その後に感染症の拡大前の傾向に回帰しつつあるものと想定し、**外国人は、令和5年以降、感染症の拡大前に準拠した人口増加傾向が継続する**ものと推計しました。



### (3) 各種動向の推計への反映一覧

感染症による各種動向について、前述した社会増減要因や大規模開発動向に加え、自然増減要因などによる影響について、以下のように検証し、反映しました。

#### 各種動向の推計への反映一覧

項目		内容
社会増減要因 (転出・転入)	日本人	平成25年1月1日から平成30年1月1日における増加傾向の純移動率を使用した。 <sup>※</sup> ※特別区を除く国内を対象とした移動は、感染症の拡大前と比較して一定程度の転出数の増加及び転入数の減少が発生するものとした。
	外国人	平成28年1月1日から令和2年1月1日までににおける増加傾向の変化率を使用した。
自然増減要因 (日本人のみ)	出生	令和2年から令和4年にかけて、各月の出生数及び妊娠届出件数は、感染症の拡大以前と比較して減少傾向にあり、感染症によって妊娠を控えた結果であると想起される一方、感染症の収束により人々の行動は以前に戻ることが想定されることから、令和5年以降、段階的に従前の傾向に回帰するものとした。
	死亡	令和5年3月現在、以前と比べて死亡数が増加している傾向は見られないことから、従来と同様の手法で算出した。
大規模開発 (日本人のみ)		感染症の拡大による開発の遅延等について、開発に係る区への各種届出や事業者ホームページ等で確認したところ、一部竣工予定日の変更等はあったものの、大きな変更は見られなかったことから、従来と同様の手法で算出した。
新しい日常		テレワークの普及等に起因する地方移住志向の高まりが区の人口動向に影響を与えていると仮定し、転出及び転入による社会移動のうち、特別区を除く国内を対象としたものについて、感染症の拡大以降における増減の傾向が、感染症の収束後も一定程度残るものとした。 新しい日常においては、住宅価格・家賃の高い都心に住む優位性が失われることが考えられる一方、都心の空洞化が進むことは、住宅価格・家賃の低下につながり、中長期的な結果として人口増加に転じる可能性も考えられるため、今後の各種動向の把握に努めることとする。

## 過年度との比較検証【港区人口推計（令和5年3月）】

### 1 推計結果（日本人）

#### (1) 日本人総人口

##### 総人口（日本人のみ）

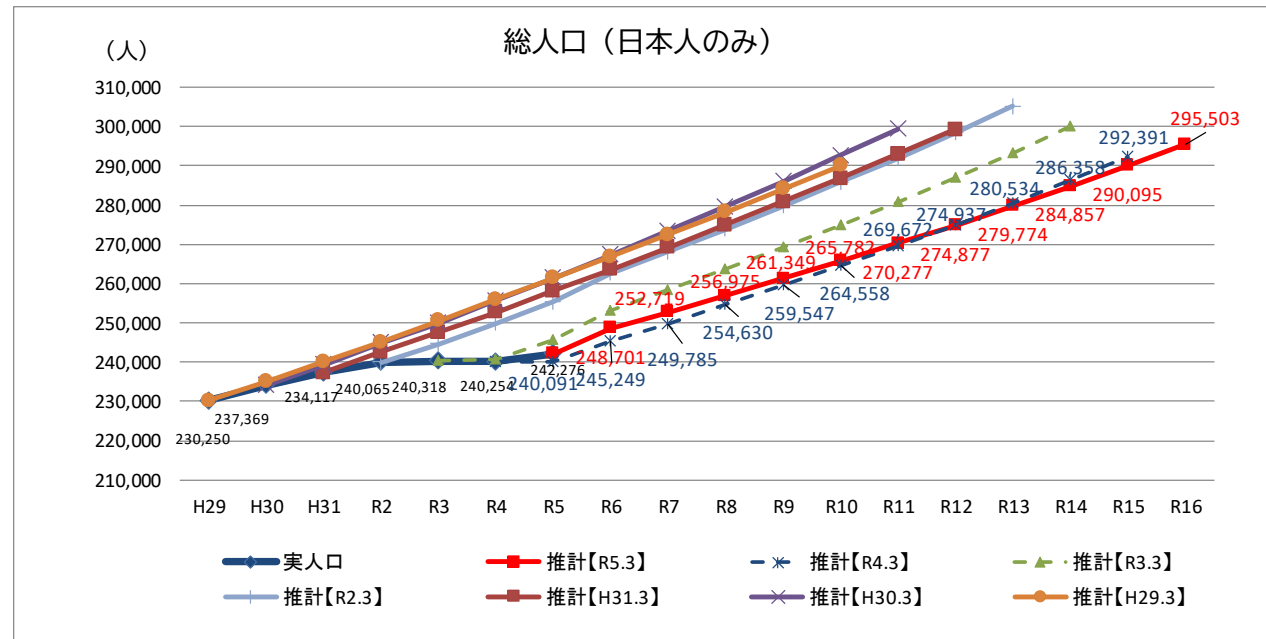
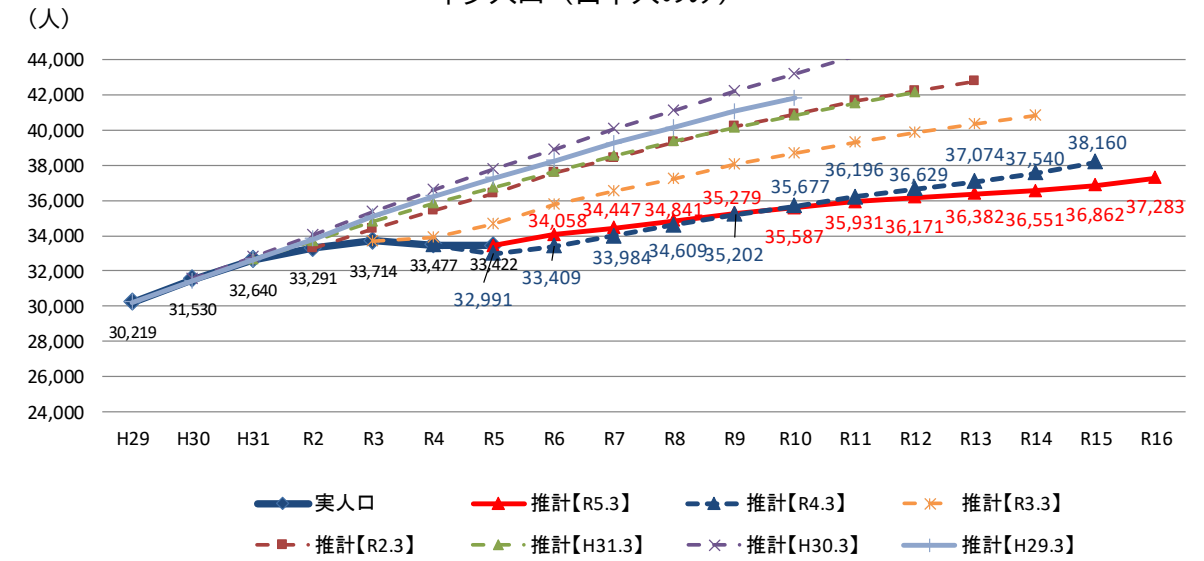
	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
実人口	230,250	234,117	237,369	240,065	240,318	240,254	242,276			
推計【R5.3】							242,276	248,701	252,719	256,975
推計【R4.3】						240,254	240,091	245,249	249,785	254,630
推計【R3.3】					240,318	240,737	245,781	253,127	258,287	263,726
推計【R2.3】				240,065	244,692	249,932	255,422	262,658	268,127	273,906
推計【H31.3】			237,369	242,659	247,575	252,729	258,175	263,675	269,221	274,982
推計【H30.3】		234,117	239,416	244,920	249,950	255,703	261,528	267,432	273,429	279,678
推計【H29.3】	230,250	235,072	240,195	245,222	250,595	256,026	261,467	266,954	272,501	278,261

推計人口の基準人口は、各年1月1日

	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
	261,349	265,782	270,277	274,877	279,774	284,857	290,095	295,503
	259,547	264,558	269,672	274,937	280,534	286,358	292,391	
	269,299	275,015	280,883	286,943	293,395	300,117		
	279,800	285,829	292,009	298,392	305,175			
	280,846	286,834	292,962	299,289				
	286,073	292,635	299,392					
	284,120	290,094						

※赤字：港区人口推計（令和5年3月）推計結果

#### 年少人口（日本人のみ）



#### 生産年齢人口（日本人のみ）

	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
実人口	157,719	159,849	161,925	163,758	163,487	163,537	165,460			
推計【R5.3】							165,460	170,446	173,429	176,357
推計【R4.3】						163,537	163,746	167,799	171,101	174,396
推計【R3.3】					163,758	166,933	170,757	174,912	180,349	184,329
推計【R2.3】				163,758	166,933	170,757	174,912	180,349	184,329	188,357
推計【H31.3】			161,925	165,818	169,233	172,961	177,067	181,052	185,046	189,092
推計【H30.3】		159,849	163,599	167,473	170,796	174,866	179,123	183,262	187,443	191,724
推計【H29.3】	157,719	160,855	164,473	168,015	171,683	175,521	179,542	183,441	187,356	191,302

	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
	179,447	182,566	185,590	188,564	191,498	195,333	198,254	201,435
	177,852	181,337	184,801	188,225	191,584	195,808	199,154	
	184,290	188,426	192,502	196,707	200,866	205,781		
	192,546	196,824	201,136	205,517	209,897			
	193,253	197,525	201,729	205,999				
	196,117	200,633	205,130					
	195,332	199,489						

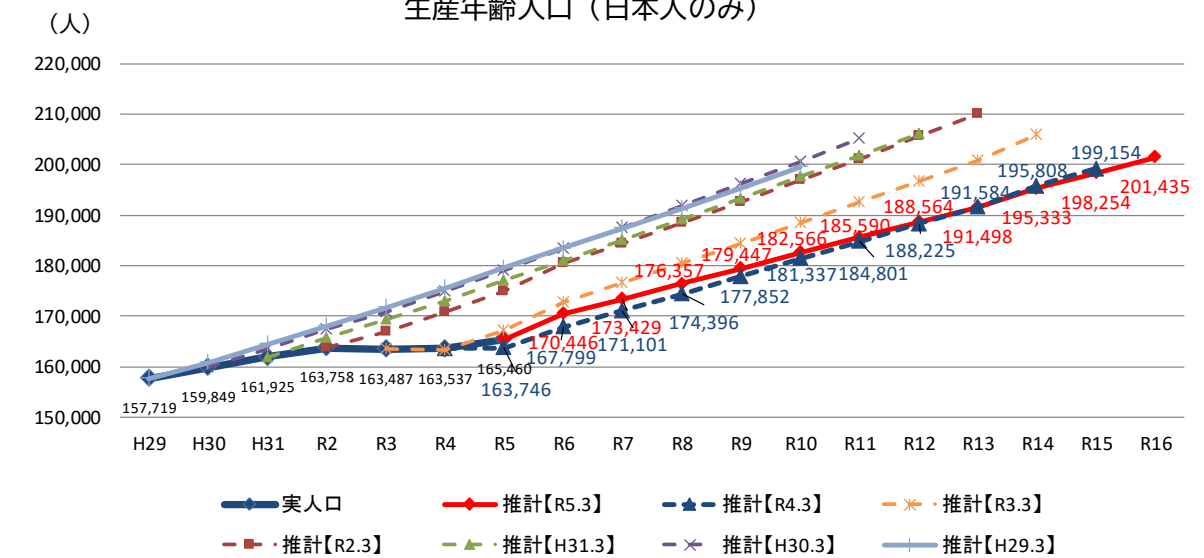
#### (2) 3区分人口

##### 年少人口（日本人のみ）

	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
実人口	30,219	31,530	32,640	33,291	33,714	33,477	33,422			
推計【R5.3】							33,422	34,058	34,447	34,841
推計【R4.3】						33,477	32,991	33,409	33,984	34,609
推計【R3.3】					33,714	33,907	34,670	35,767	36,506	37,246
推計【R2.3】				33,291	34,413	35,439	36,402	37,530	38,407	39,307
推計【H31.3】			32,640	33,700	34,822	35,805	36,750	37,632	38,529	39,349
推計【H30.3】		31,530	32,807	34,065	35,371	36,597	37,763	38,890	40,044	41,111
推計【H29.3】	30,219	31,412	32,644	33,812	35,103	36,233	37,269	38,233	39,224	40,134

	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
	35,279	35,587	35,931	36,171	36,382	36,551	36,862	37,283
	35,202	35,677	36,196	36,629	37,074	37,540	38,160	
	38,043	38,649	39,319	39,815	40,352	40,795		
	40,174	40,883	41,618	42,187	42,760			
	40,152	40,806	41,532	42,097				
	42,198	43,159	44,220					
	41,047	41,787						

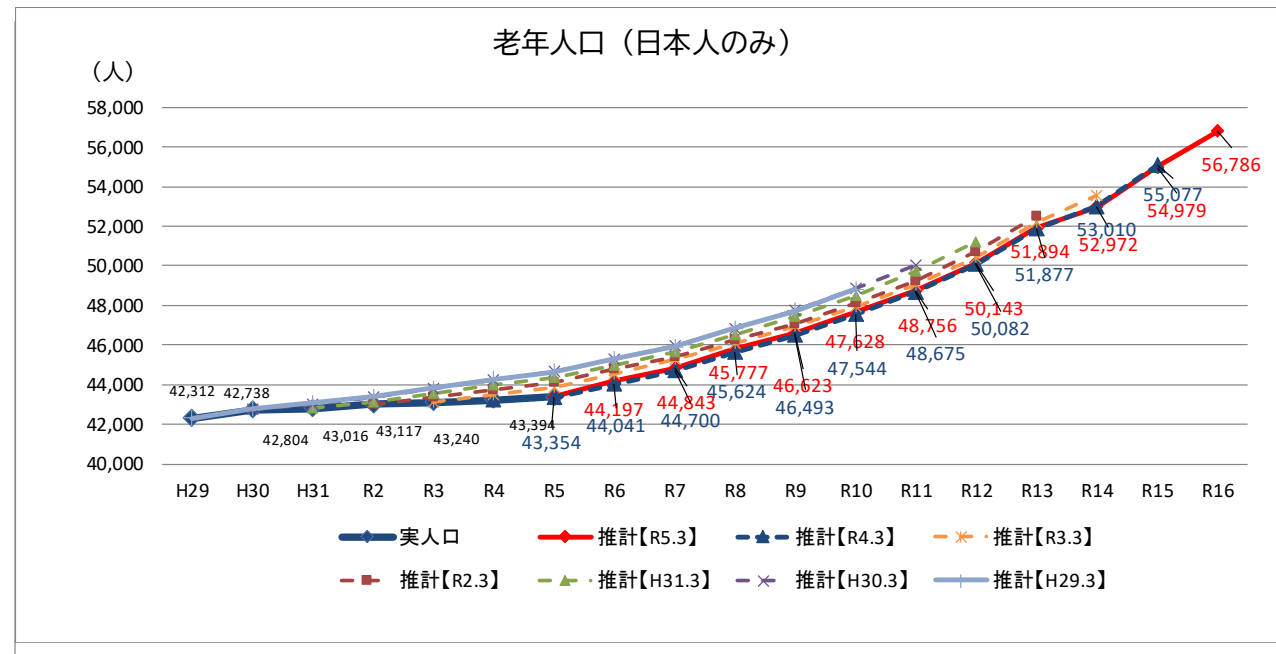
#### 生産年齢人口（日本人のみ）



## 老年人口（日本人のみ）

	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
実人口	42,312	42,738	42,804	43,016	43,117	43,240	43,394			
推計【R5.3】							43,394	44,197	44,843	45,777
推計【R4.3】						43,240	43,354	44,041	44,700	45,624
推計【R3.3】					43,117	43,478	43,886	44,566	45,264	46,108
推計【R2.3】				43,016	43,346	43,735	44,108	44,779	45,391	46,241
推計【H31.3】			42,804	43,140	43,520	43,963	44,358	44,991	45,647	46,541
推計【H30.3】		42,738	43,010	43,382	43,782	44,239	44,642	45,280	45,942	46,843
推計【H29.3】	42,312	42,805	43,079	43,395	43,810	44,271	44,655	45,279	45,922	46,824

	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
	46,623	47,628	48,756	50,143	51,894	52,972	54,979	56,786
	46,493	47,544	48,675	50,082	51,877	53,010	55,077	
	46,967	47,940	49,062	50,421	52,177	53,541		
	47,080	48,122	49,255	50,687	52,518			
	47,441	48,503	49,701	51,193				
	47,758	48,844	50,042					
	47,741	48,818						



## 2 開発人口の把握

### (1) 過去の入居状況の把握棟数

令和5年推計：131物件（37,636人分） 令和4年推計：126物件（36,359人分）

※過去の50戸以上の集合住宅への入居状況（男女別・各歳別）を基に、将来の大規模集合住宅の入居状況を推計しています。

※住民登録率の区平均(世帯)：68.8% 転入率の区平均(人)：68.1% 平均世帯人員：1.94人

### (2) 確定開発・想定開発

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
開発戸数【R5.3】	1,432	3,842	986	986	986	986	986	986
開発戸数【R4.3】	1,482	3,768	990	990	990	990	990	990
差 (R5 - R4)	-50	74	-4	-4	-4	-4	-4	-4

R12	R13	R14	R15	R16
986	986	986	986	990
990	990	990	990	
-4	-4	-4	-4	

※斜体文字は、想定開発

## 想定開発の算出根拠

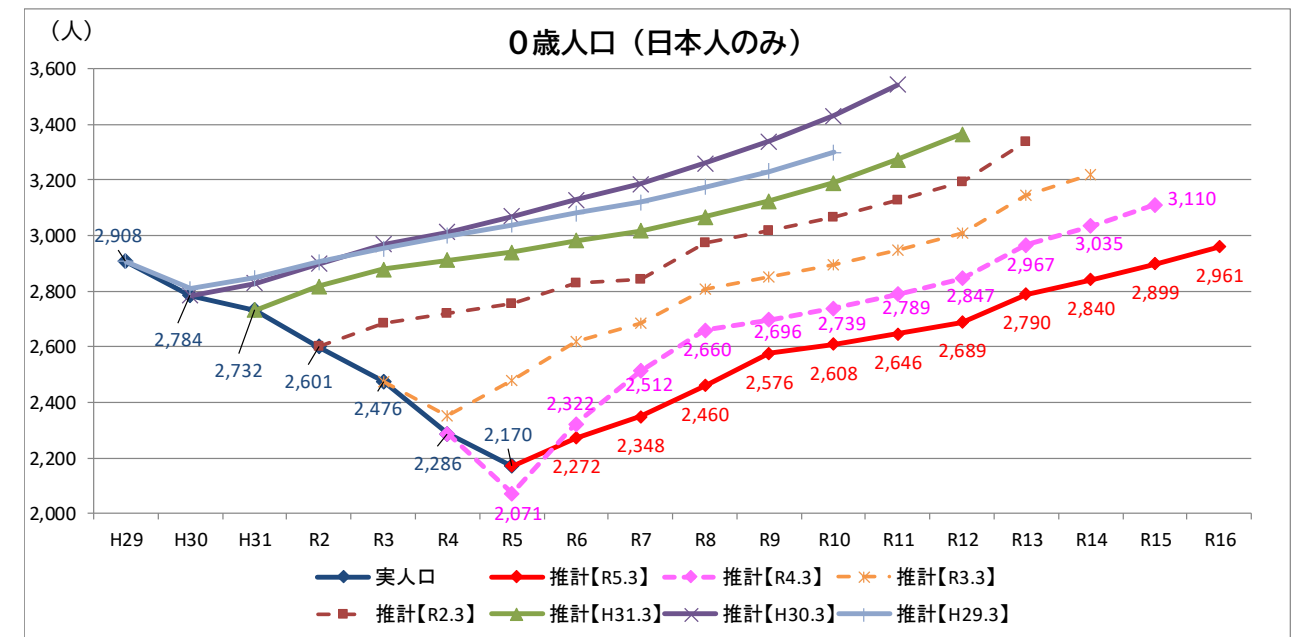
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
開発戸数	1,222	1,847	768	1,188	539	802	1,048	370	641	1,432	3,842

平均986戸

## 3 0歳人口（日本人のみ）

	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
実人口	2,908	2,784	2,732	2,601	2,476	2,286	2,170			
推計【R5.3】							2,170	2,272	2,348	2,460
推計【R4.3】						2,286	2,071	2,322	2,512	2,660
推計【R3.3】					2,476	2,352	2,479	2,618	2,686	2,806
推計【R2.3】				2,601	2,684	2,722	2,754	2,828	2,841	2,973
推計【H31.3】			2,732	2,818	2,879	2,912	2,939	2,981	3,018	3,068
推計【H30.3】		2,784	2,829	2,898	2,968	3,012	3,069	3,129	3,185	3,259
推計【H29.3】	2,908	2,809	2,847	2,904	2,953	3,000	3,039	3,081	3,119	3,174

	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
	2,576	2,608	2,646	2,689	2,790	2,840	2,899	2,961
	2,696	2,739	2,789	2,847	2,967	3,035	3,110	
	2,849	2,896	2,949	3,011	3,143	3,219		
	3,016	3,068	3,127	3,195	3,337			
	3,123	3,191	3,274	3,365				
	3,340	3,431	3,542					
	3,232	3,300						



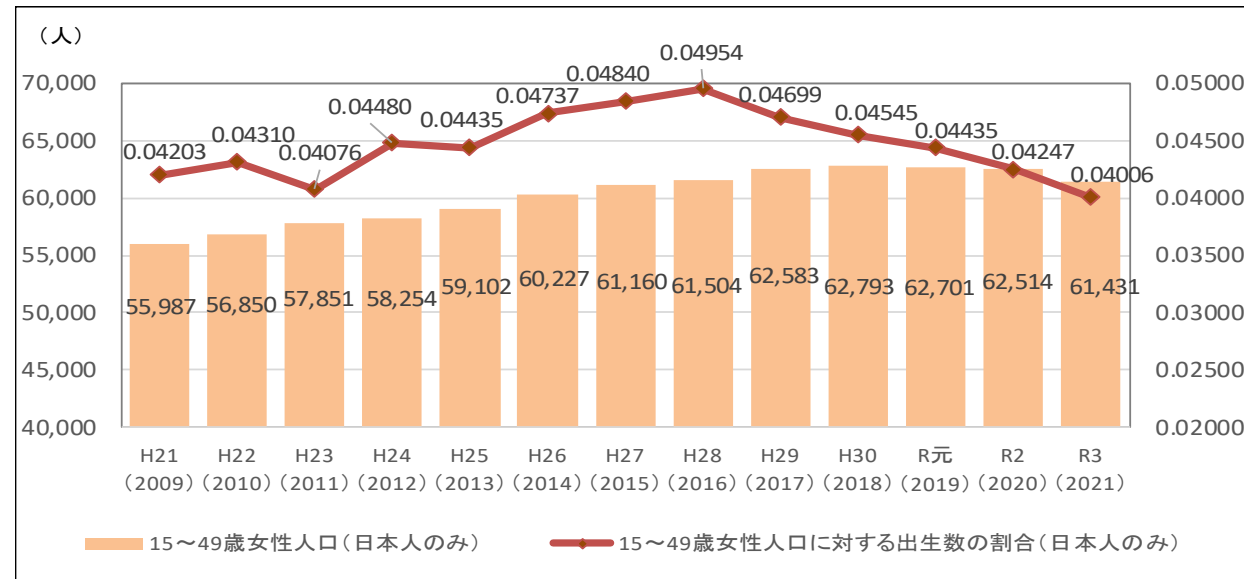
(参考)

■15～49歳女性人口（日本人のみ）

	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
実人口	62,583	62,793	62,701	62,514	61,431	60,290	60,016	61,256	61,783	62,380
推計【R5.3】							60,016	61,256	61,783	62,380
推計【R4.3】						60,290	59,253	60,085	60,859	61,691
推計【R3.3】					61,431	60,594	61,236	62,706	63,468	64,448
推計【R2.3】				62,514	63,075	63,717	64,511	65,859	66,780	67,752
推計【H31.3】			62,701	63,442	63,832	64,167	64,668	65,110	65,715	66,378
推計【H30.3】		62,793	63,643	64,500	65,032	65,729	66,468	67,154	68,062	69,052
推計【H29.3】	62,583	63,055	63,762	64,364	64,949	65,430	65,952	66,431	67,106	67,831

R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
63,177	64,086	65,133	66,150	67,360	68,764	70,234	71,731
62,676	63,832	65,157	66,474	68,008	69,703	71,516	
65,519	66,715	68,143	69,623	71,319	73,211		
68,914	70,259	71,788	73,387	75,179			
67,186	68,187	69,281	70,412				
70,165	71,528	72,958					
68,669	69,766						

■15～49歳女性人口に対する出生数の割合



4 外国人人口

令和5年3月推計：コーホート変化率法を使用

	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総人口	18,992	19,522	20,057	20,314	18,718	16,929	19,339	19,743	20,146	20,554
年少人口	2,260	2,342	2,471	2,449	2,222	1,904	2,207	2,278	2,335	2,412
生産年齢人口	15,889	16,296	16,606	16,830	15,427	13,930	15,886	16,152	16,428	16,650
老年人口	843	884	980	1,035	1,069	1,095	1,246	1,313	1,383	1,491

R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
20,969	21,388	21,809	22,223	22,631	23,045	23,453	23,857
2,474	2,532	2,600	2,646	2,704	2,756	2,805	2,883
16,898	17,146	17,380	17,627	17,891	18,166	18,391	18,588
1,597	1,711	1,829	1,949	2,036	2,123	2,257	2,385

※黒字は実人口、赤字は推計値

